

第5章 ボランティア活動



ボランティア受付の様子= 4月1日、輪島市災害ボランティアセンター門前



被災した家庭から出た大量のごみを片付けるボランティア
= 3月31日、輪島市門前町道下



教職員によるボランティア活動=穴水町内の廃棄物最終処分場



輪島漆芸技術研修所の研修生による被災して一時保管された漆器の手入れ
= 6月12日、輪島市文化会館



約500人のボランティアが参加して行われた千枚田の田植え
= 5月12日、輪島市白米町



ボランティアバスで、早朝に被災地へ向かうボランティア
= 3月31日、県西部緑地公園



入学式に備え、避難所の体育館を清掃するボランティア
= 4月5日、輪島市門前西小学校



生徒による輪島市袖ヶ浦海岸の清掃活動

第5章 ボランティア活動

1. ボランティア活動の概要

県地域防災計画に基づき、財団法人石川県県民ボランティアセンター（以下、「県民ボランティアセンター」という）は、平成19年3月25日12時30分、県災害対策本部設置に併せ、石川県災害対策ボランティア本部（以下、「ボランティア県本部」という）を設置し、被災市町及び関係団体と連携し、ボランティア受け入れの総合調整、ボランティア輸送バスの運行などボランティア活動に対する支援を行った。

また、輪島市社会福祉協議会が輪島市門前町及び旧輪島市に、穴水町社会福祉協議会が穴水町において、災害対策ボランティア現地本部（以下、「ボランティア現地本部」という）を設置し、ボランティアと被災者ニーズの調整、ボランティア活動の具体的な指示、ボランティアの安全管理などを行った。

こうした受け入れ体制のもと、県外も含め1万6000人を超えるボランティアが、被災した家屋の清掃や壊れた家具の後片づけ、避難所での被災者との交流、仮設住宅への引越しの手伝いなどの活動を行った。

ボランティア受付活動人数（平成19年3月28日～5月31日）

輪島市災害ボランティアセンター輪島	1,758人
輪島市災害ボランティアセンター門前	10,754人
穴水町災害対策ボランティア現地本部	3,591人
合計	16,103人

【詳細は資料編287ページ参照】

2. 県災害対策ボランティア本部

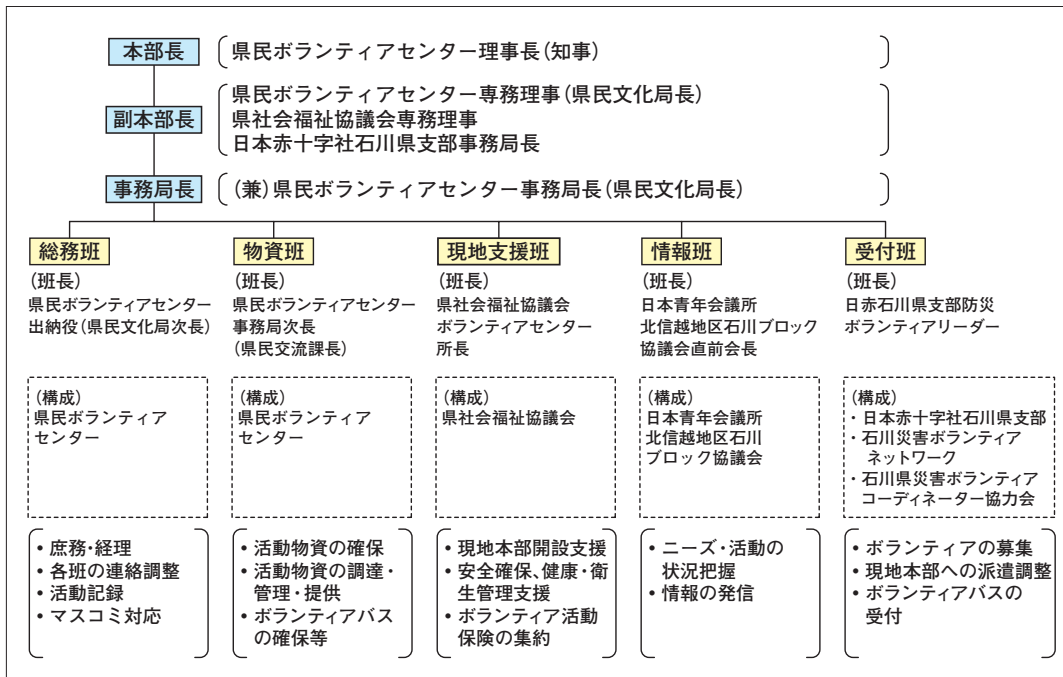
1 災害ボランティアコーディネーターなどの派遣

ボランティア県本部では、地震発生の翌26日、石川県災害対策ボランティア連絡会を開催し、関係団体の協力体制を確認するとともに、現地調査のため、災害ボランティアコーディネーターと県職員を被災地に派遣した。

2 ホームページなどによるボランティア募集

(1) ボランティアによる支援活動自粛のお願い
災害発生直後、被災地は、被害状況確認やラ

石川県災害対策ボランティア本部 組織図



イフライン復旧作業などにより混乱し、また、余震による二次災害の恐れもあったことから、ボランティア活動のための被災地来訪をしばらくの間、自粛していただくよう県ホームページなどを通じて発信した。

(2) ボランティアの募集、被災者ニーズの受付開始
 復旧作業も落ち着き始めた28日から県ホームページなどを通じ、ボランティア募集及び被災者からのニーズ受付等についての情報を発信した。
 また、ボランティア輸送バスの運行のお知らせについても、随時情報を発信した。

3 災害ボランティア活動への支援

(1) ボランティア輸送バスの運行

被災地の交通混雑、駐車場不足の回避及び道路事情の不案内な県外ボランティアの利便確保のため、金沢から被災地（輪島市、穴水町）に向けて、ボランティア輸送バスを運行した。

地震発生後最初の土曜日である3月31日には、県西部緑地公園内駐車場において、ボランティア県本部長である知事も参加し、ボランティア輸送バス出発式を行った。

運行日：平成19年3月29日～4月22日
 （毎日運行）

運行台数：143台

輸送したボランティア：延べ4,835人

(2) ボランティア活動保険掛金の助成

災害ボランティア活動中に起こる様々な事故からボランティアを補償するボランティア活動保険の掛金について全額助成を行った。

（助成人数：12,232人）

(3) 災害ボランティア活動支援物資の購入・提供
 ボランティア現地本部からの要請に応じ、災害ボランティア活動に必要なスコップ、バケツ、軍手、マスクなどの物資の購入・提供を行った。

3. 災害対策ボランティア現地本部

1 輪島市災害ボランティアセンター

輪島市社会福祉協議会は、輪島青年会議所の協力も得て、3月27日に「輪島市災害ボランティアセンター門前」（輪島市立門前東小学校内）、30日に「輪島市災害ボランティアセンター輪島」（輪島市文化会館2階）を現地本部として設置した。



輪島市災害ボランティアセンター門前＝門前東小学校

両現地本部では、被災住民への広報、ボランティア派遣依頼に関する受付及び相談への対応、ボランティアの健康管理などを行った。さらに、独自の取り組みとして、輪島市災害ボランティアセンター輪島では、避難所の高齢者の

災害対策ボランティア現地本部 設置状況

年月日	輪島市災害ボランティアセンター輪島	輪島市災害ボランティアセンター門前	穴水町災害対策ボランティア現地本部
平成19年3月27日		門前東小学校	穴水町保健センター
3月30日	輪島市文化会館	↓	↓
4月5日	↓	道下サンセットパーク内	穴水町保健センター敷地内（プレハブ）
4月26日	輪島市ふれあい健康センター	↓	↓
5月7日	↓	↓	穴水町保健センター（穴水町社会福祉協議会）
5月27日	（閉所） 輪島市ふれあい健康センター（輪島市社会福祉協議会）	（閉所） 輪島市門前保健センター （輪島市社会福祉協議会門前支所）	↓
5月31日	↓	↓	（閉所） 穴水町保健センター（穴水町社会福祉協議会）

お風呂への送迎、被災者の荷物の運搬、バスの乗り降りの介助などを行った。



輪島市災害ボランティアセンター輪島

輪島市災害ボランティアセンター門前は、新学期が始まることから、4月5日に門前東小学校内から道下応急仮設住宅向かいにある道下サンセットパーク内に移転した。

門前東・門前西小学校の入学式(4月9日)に合わせて、ボランティアのメッセージを書いた約2,000枚の桜のはなびらを学校内に飾りつける「桜のはなびらプロジェクト」を独自の取り組みとして実施した。



メッセージが書き込まれた桜型の紙が校舎を彩った

5月27日をもって両現地本部は閉所したが、その後は、「輪島市復興支援ボランティアセンター門前」及び「輪島市復興支援ボランティアセンター輪島」として、輪島市社会福祉協議会が、輪島青年会議所、輪島市災害ボランティアの会などの各種団体と連携し、輪島市の復興に向けたボランティア活動に取り組んでいる。



ボランティアセンターの閉所式で輪島市長(右)から「復興の鍵」を受け取る市社会福祉協議会会長(右から2人目)＝輪島市門前町道下

2 穴水町災害対策ボランティア現地本部

穴水町社会福祉協議会は、穴水町ボランティア連絡協議会と連絡調整を行い、3月27日に「穴水町災害対策ボランティア現地本部」(穴水町保健センター内)を設置した。



ボランティアへの説明＝3月29日、穴水町災害対策ボランティア現地本部

同現地本部では、被災住民への広報、ボランティア派遣依頼に関する受付及び相談への対応、ボランティアの健康管理などを行ったほか、独自の取り組みとして、被災者からの被災家屋に関する質問・要望に応じて、専門家による相談会や被災家屋の無料診断を実施した。

5月31日をもって同現地本部は閉所したが、その後は、穴水町社会福祉協議会が、関係団体、関係機関、地元ボランティアと協力し、被災者の心のケアや福祉などの救護活動に取り組んでいる。

4. 主な災害ボランティア活動

ボランティアの受付活動人数は、地震発生から5月31日までの間で計16,103人を数え、主に下記の被災地復旧、被災者支援活動が行われたが、このほかにも高校生による仮設住宅の表札作りやボランティアによる被災者への足湯のサービスやマッサージ、僧侶らによる行茶（お茶の振る舞い）など被災者の立場に立った様々な取り組みも行なわれ、被災者との交流が図られた。



若手僧侶による足湯のサービス＝4月25日、穴水町国民保養センター

① ゴミ処理・家屋清掃

- ・家屋内外に散乱した家財の片付け・清掃
- ・倒壊ブロック塀などの瓦礫処理
- ・災害ゴミの分別・回収・積込・運搬
- ・家電製品の廃棄
- ・災害家屋の周辺（道路・溝など）の清掃



布団やタンスを仮置き場に運び入れる被災者とボランティア＝4月28日、穴水町比良の旧向洋中学校

② 物資の整理

- ・救援物資の区分け、整理、運搬
- ・物資の配給
- ・救援物資保管場所の清掃

③ 仮設住宅での活動

- ・仮設住宅への引越し手伝い
- ・仮設住宅用の救援物資荷造り、移動、配布
- ・仮設住宅入居者に対する相談対応
- ・仮設住宅への定期訪問

④ 避難所での活動

- ・避難所訪問活動（オーケストラ・アンサンブル金沢や高校生ブラスバンドの慰問演奏、柔道整復師によるマッサージなど）



オーケストラ・アンサンブル金沢の慰問コンサート
＝4月10日、輪島市のふれあい工房あざし

- ・避難所片付け、清掃、移転の手伝い

⑤ ニーズ調査・広報活動

- ・ボランティア現地本部の業務案内
- ・被災者声かけ・訪問活動（ニーズ調査）
- ・家屋調査

⑥ ボランティアコーディネート

- ・ボランティア本部における運営支援
- ・ボランティアの調整

⑦ その他

- ・施設訪問
- ・運転ボランティア
- ・家屋の修理

5. 各機関などによる災害ボランティア活動

1 高校生及び教職員などの活動

3月25日は春休み初日であったこともあり、地震発生直後から被災地内の門前高校、穴水高校、輪島高校などの生徒が地域の方とともに炊き出しなどの活動に参加した。その後、各校の生徒会が中心となり、地域のボランティアセンターと連携し、ボランティア活動を行った。

3月30日からは、被災地以外の高校の生徒会や部活動単位での活動も始まり、春休み中は計

10校が参加した。

また、学校の特別活動の一環として、4月11日には金沢桜丘高校の2年生352人、4月13日には羽咋高校の2年生191人が被災地での清掃活動やゴミの分別、救援物資の配布などの活動を行った。

4月24日までに約1,100人の高校生がこうしたボランティア活動に参加した。

また、教職員も、4月12日に平成19年度新規採用者153人を含む179人が、穴水町にある廃棄物の最終処分場で、ごみの分別作業を行った。

さらに、6月12日には、県立輪島漆芸技術研修所の研修生30人が、被災して一時保管していた漆器の手入れなどのボランティア活動に参加した。



被災者に励ましの手紙と救援物資を手渡す金沢桜丘高校の生徒＝4月11日、輪島市門前町



瓦を片付ける金沢競馬関係者＝4月3日、輪島市門前町黒島町

2 各種団体などの活動

4月3日、金沢競馬関係者で構成される金沢競馬振興協議会の会員69人が輪島市門前町で倒壊した納屋の片付けなどのボランティア活動を行った。

そのほか企業や学生、日本赤十字社、社会福祉協議会など各種団体からも多くのボランティアが協力し、被災地復旧・被災地支援活動が行われた。